

Information

埼玉県立大学研究開発 センターシンポジウム 2020 (Web 開催)

日程▶[オンデマンド配信] 2月中旬～7月
月末(予定)

テーマ▶地域のつながりの再構築を目指して

プログラム▶基調講演「地域共生社会の実現を目指した国の施策動向とコロナ禍での対応」 笹子宗一郎(厚生労働省)/シンポジウム「支援者を如何に支えるか—子どもの食支援活動から考える」 佐藤匡史(日本こどもの居場所ネットワーク), 吉川尚彦(埼玉県生活協同組合連合会), 古川泰之(埼玉県庁), 川越雅弘(埼玉県立大学)/パネルディスカッション

参加費▶無料

申込方法▶下記申込フォームより参加登録
<https://business.form-mailer.jp/fms/2b7fbff4127411>

*公開期間等詳細は下記 URL を参照

問い合わせ先▶埼玉県立大学研究開発センター

✉ Research_c@spu.ac.jp

☎ 048-973-4362

<https://www.spu.ac.jp/research/centers/tabid848.html>

公益信託山路ふみ子 専門看護教育研究助成基金 第31回(2021年度) 研究助成候補者募集

主旨▶看護実践の科学的根拠の確立、看護方法論の開発と評価および看護学の基礎となる研究を助成。今年度は、COVID-19に関連する看護研究を期待。なお、軍事に資する研究には助成しない

助成金交付予定額および助成金使用期限▶

①1件150万円以内で、約20人に交付予定

*助成金使用期限は、大学院博士後期課程または5年一貫博士課程の場合は修了予定日まで、博士課程修了後の研究生の場合は研究終了時まで。ただし、最長3年

②助成金の使用内訳には、以下の制限がある

ア. パソコン等のハード購入費は20万円以内

イ. 下記の費用は助成対象としない
授業料・学会参加費・論文作成費(英訳を含む)・データ入力およびテープ起こしなどに対する謝金

ウ. 研究推進に直接必要な経費に充当するものとし、間接経費への使用および使用者の変更は認めない

応募資格▶次の全ての条件を満たす者

①日本国籍を有し、厚生労働大臣の免許を受けている看護師

②国内または国外の大学院博士後期課程または5年一貫博士課程の正規生、もしくは博士課程修了後の研究生(いわゆるポスドク)として在学中で、看護学の諸分野を研究中的者

③看護学の探求に熱意を持ち、将来看護学の教育、実践または研究に携わる意志を持つ者

④これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者。ただし、博士課程修了後の研究生(いわゆるポスドク)はこの限りではない

*給与収入(フルタイム)がある者、2021年4月時点で大学院博士後期課程1年生、5年一貫博士課程1,2年生は原則として応募資格はない

応募方法▶以下の書類を当公益信託の受託者(下記)に提出

①所定の申請書1通(志望者が、受託者宛に直接郵送)

ア. 各用紙への記入はPC等活字入力(手書き禁止)

イ. 所定の申請書以外に書かれたものは、審査対象としない。様式を変更したり、複数ページに記入した場合、応募は無効。印刷はA4用紙4枚・片面印刷(両面印刷不可)

ウ. 書類は返却しない

エ. 申請書は、受託者三井住友信託銀行ホームページの公益信託の募集案内一覧のページからダウンロード

助成金受給者の義務▶

①研究成果の報告書(会計報告書を含む)を助成金使用期限までに当公益信託の受

託者に提出

②学位論文完成時、研究生は研究終了時には、論文要旨の写しを当公益信託の受託者に提出

③学位論文およびその他研究論文を公表する場合には、「この研究は、公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金より助成を受けた」旨を記載

④当公益信託の事業において研究成果の報告をすることがある

⑤受給後に給与収入が発生した場合は、未使用の助成金を返金

申請締切日▶3月19日(金)当日必着

審査方法ならびに通知▶当公益信託の運営委員会、書類による審査の上、採否を決定し、結果は5月上旬頃までに志望者に通知

*受給者は5月28日(金)17:00から(予定)贈呈式に出席のこと

助成金交付期日▶採択決定後、受給者の書類が整い次第すみやかに交付

申請書の提出先・照会先▶公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金申請口

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1 三井住友信託銀行個人資産受託業務部公益信託グループ

☎ 03-5232-8910(平日9:00~17:00)

☎ 03-5232-8919

<https://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

公益信託中西睦子 看護学先端的研究基金 2021年度研究助成候補者募集

主旨▶保健医療福祉施設および地域等において、看護実践の成果の可視化および理論化を図ろうとする看護職の研究を助成。ただし、博士論文のための研究は対象としない。また、軍事に資する研究は助成しない

助成金交付予定額および助成金使用期限▶

①1件200万円以内で、約5人に交付予定

*助成金使用期限は、研究終了時まで。ただし、最長3年

②助成金の使用内訳には、以下の制限がある

ア. パソコン等のハード購入費は 20 万円以内

イ. 下記の費用は助成対象としない
授業料・学会参加費・論文作成費（英訳を含む）・データ入力およびテープ起こし等に対する謝金

ウ. 研究推進に直接必要な経費に充当するものとし、間接経費への使用および使用者の変更は認めない

応募資格▶次の全ての条件を満たす者

①日本国籍を有し、厚生労働大臣の免許を受けている看護師

②修士・博士の学位を有する現場の看護職（個人またはグループ）で、実践の成果の可視化、もしくは理論化を図ろうとする研究を行おうとする者

③主たる申請者が科研費の申請資格がない者

④これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者

応募方法▶以下の書類を当公益信託の受託者（下記）に提出

①所定の申請書 1 通（志望者が受託者宛に直接郵送）

ア. 各用紙への記入は PC 等活字入力によるもの（手書き禁止）

イ. 所定の申請書以外に書かれたものは、審査対象としない。様式を変更したり、複数ページに記入した場合、応募は無効。印刷は A 4 用紙 4 枚・片面印刷（両面印刷不可）

ウ. 書類は返却しない

エ. 申請書は、受託者三井住友信託銀行ホームページの公益信託の募集案内一覧のページからダウンロード

助成金受給者の義務▶

①研究成果の報告書（会計報告書を含む）を受給後 3 年以内に当公益信託の受託者に提出

②研究終了時には、論文要旨の写しを当公益信託の受託者に提出

③研究論文を公表する場合には、「この研究は、公益信託中西睦子看護学先端的研究基金より助成を受けた」旨を記載

④当公益信託の事業において研究成果の報告をすることがある

募集締切日▶3月19日(金)当日必着

審査方法並びに通知▶当公益信託の運営委

員会で、書類による審査の上、採否を決定し、結果は 5 月上旬頃に志望者に通知

*受給者は、5月28日(金)17:00 から（予定）贈呈式に出席のこと

助成金交付期日▶採択決定後、受給者の書類が整い次第すみやかに交付

その他▶

①助成金は、指定の銀行口座等へ振り込む

②所属機関への委任経理とする場合、間接経費の使用および使用者の変更は認めない

申請書の提出先・照会先▶公益信託中西睦子看護学先端的研究基金申請口

〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1 三井住友信託銀行個人資産受託業務部公益信託グループ

☎ 03-5232-8910（受付：平日 9:00～17:00）

☎ 03-5232-8919

<https://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

第 3 回日本 APN シンポジウム (Web 開催)

日程▶[LIVE 配信] 3月6日(土)、7日(日)、13日(土)、[オンデマンド配信] LIVE 配信から 1 週間

テーマ▶ヘルスケアにおける APN のリーダーシップ—これからの医療を作る私達の役割を考える

プログラム▶「奉仕から“プロ”へ—ライフコーチングに学ぶ変化の原動力」緒方さやか（米国, NP）／「NP としてのリーダーシップ—ヘルスケアの発展につなげる NP の能力・魅力の共有」本田和也（診療看護師）／「これからの医療を作る APN へのエールと私のミッション」市原真穂（専門看護師）／「APN のビジョンシェアと評価」野々内美加（カナダ, NP）／「COVID-19 パンデミック下における専門看護師の実践と今後の展望」坂本晴世（専門看護師）／「医療の質の向上と変革におけるリーダーシップ—高度実践看護師の役割」朝倉由紀（米国, CNS）／パネルディスカッション「これからの医療における APN の役割」

*APN（Advanced Practice Nurse）：高度実践看護師

参加費▶5000 円

申込方法▶下記ホームページの申込フォームより

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=9114650752330505&EventCode=P451719502

問い合わせ先▶日本 APN 後援会

✉ info@societyforjapn.com

<https://www.societyforjapn.com/>

第 31 回日本医学看護学教育 学会学術学会 (Web 開催)

日程▶[オンデマンド] 3月20日(土)～30日(火)

テーマ▶新たな時代の看護教育と国際化

プログラム▶会頭講演「新しい生活と国際交流活動」池田理恵（岡山県立大学）／教育講演「Global Education for Nursing Students」Justina Liu（The Hong Kong Polytechnic University）／シンポジウム「看護職に求められるスキルとしての国際感覚」：1)「国際看護学部を目指すもの」鈴井江三子（大手前大学）、2)「周産期における現状と基礎教育に求めるもの」高田鼓（倉敷中央病院）、3)「災害支援とグローバルヘルス」宮本純子、藤田さやか（姫路大学）、4)「JBI 日本支部の活動」西村直子（大手前大学）

参加費▶会費 4000 円、非会員 5000 円、学部学生 2000 円

参加登録期間▶2月28日(日)まで

参加登録方法▶下記 URL の「事前参加登録フォーム」より

問い合わせ先▶事務局

〒719-1197 岡山県総社市窪木 111 岡山県立大学キャンパス内（担当：川下）

✉ kawashita@fhw.oka-pu.ac.jp

<http://www.jamne.org/meeting/31.html>

*掲載している情報は 1 月 6 日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。